

③農業鑑定競技会について〔進捗状況〕

令和3年度第73回春季代議員会で承認された「分野および大項目（変更案）」に基づき、中項目・小項目ならびに出題範囲の案を作成するため、令和3年度に農業鑑定競技会実施基準作成委員会を立ち上げた。この組織は、委員長を日本学校農業クラブ連盟代表として、委員を原則として各分野2名×10分野、および分野「共通」1名の計21名とした。農業の地域性を踏まえつつ全国の農業を学ぶ生徒が学習の成果として力を発揮できる基準の作成のために関東ブロックに加え全国のブロックに委員の協力をいただいた。

（令和3年度）

1月 同委員会第1回会議（オンライン、以下同じ）を開催し、19名に委員を委嘱した。委員が担当分野ごとに、新基準の中項目・小項目および出題の範囲について原案の作成に着手した。

（会議出席者：文部科学省調査官、日連代表・副代表、同委員会委員19名、日連中央指導委員）

3月 同委員会臨時会議を開催し、あらたに2名に委員を委嘱した。

（会議出席者：同委員会委員2名、日連中央指導委員）

原案の作成を進めるにあたっての課題等について共有を図り、新しい学習指導要領に基づく教科書の多くが検定前・発行前の状況であり、原案の作成に支障を来していることがあらためて明らかとなった。なお、一部の大項目（科目）の教科書については、発行が令和6年度以降となる可能性があることから、実施基準改定スケジュールを見直す必要性があることが確認できた。

（令和4年度）

4月 中央指導委員会において、実施基準改定スケジュールを一部変更すること、ならびに春季代議員会にてその旨提案することを決定した。

令和4年度同委員会第1回会議を開催し、進捗状況の確認ならびに課題の共有を図った。

（会議出席者：文部科学省調査官、日連代表・副代表、同委員会委員、日連中央指導委員）

5月 令和4年度第74回春季代議員会において、全国大会実施基準改定スケジュールの一部変更について提案し（第10号議案の議題1）、承認された。

- 6月 令和4年度同委員会第2回会議を開催し、進捗状況の確認ならびに課題の共有を図った。
(会議出席者：文部科学省調査官、日連代表・副代表、同委員会委員、日連中央指導委員)
- 9月 令和4年度同委員会第3回会議を開催。以降の開催月日については今後検討する。
- 10月 秋季代議員会（北陸大会）にて改定作業の進捗状況を報告。

(令和5年度・今後の予定)

- 4月 改めて農業鑑定競技会実施基準作成委員会の委員を委嘱し、令和5年度発行の新しい学習指導要領に基づく教科書入手し改定作業を実施する。
- 5月 春季代議員会にて改定作業の進捗状況を報告。
- 8月 新基準（案）決定見込。
- 10月 秋季代議員会（熊本大会）にて新基準(案)を提示。以降、全国アンケートを実施。

(令和6年度の予定)

- 4月 令和6年度発行の新しい学習指導要領に基づく教科書入手し中央指導委員による最終の改定作業を実施する。
- 5月 春季代議員会にて、新基準を決定。
- 10月 新基準により全国大会（岩手大会）実施。